

平成22年度 鹿児島県農政部 調査・測量・設計業務詳細運用統一基準 改正概要

頁	改正後	改正前																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7	<p>5. 水田パイプライン設計歩掛 (実施設計)</p> <p>5. 水田パイプライン設計歩掛 (実施設計) *水田パイプライン単独工事における設計に適用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業項目</th> <th rowspan="2">作業内容</th> <th rowspan="2">歩掛基準</th> <th colspan="5">標準歩掛</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">適用歩掛</th> <th rowspan="2">補正係数</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主 師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 現地調査</td> <td>地形、水源位置、主要施設位置等 1) 現地調査 地区内を踏査し把握する。</td> <td>100 ha</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td>(3.0)</td> <td>畑かん 構想1-1</td> <td>2)-2</td> </tr> <tr> <td>2. 計画図示の検討</td> <td>既存資料及び気象資料に基づき、計 算式により単位用水量を決定する。</td> <td>1地区</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td>(2.0)</td> <td>畑かん 基本2-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 計 画</td> <td>路線別に計画断面決定に必要な用 水量を決定するとともに、用水系 統概式図を作成する。</td> <td>100 ha</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(4.0)</td> <td>(2.0)</td> <td>(7.0)</td> <td>注 場 基本3-9</td> <td>1)-2</td> </tr> <tr> <td>1) 計画用水量</td> <td>路線毎の平均勾配に基づく、水理 計算を行う。</td> <td>100 ha</td> <td></td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(2.0)</td> <td>(3.0)</td> <td>注 場 基本3-11-1</td> <td>1)-2</td> </tr> <tr> <td>2) 用水路水理計算</td> <td>1/1,000頃に配管計画を行い、管種 口径、延長及び附属工を記入する と併に、支線水路の異形管種の内 示を行う。(給水栓までの計画)</td> <td>10 ha</td> <td></td> <td>(0.9)</td> <td>(0.1)</td> <td>(3.1)</td> <td>(3.7)</td> <td>(9.8)</td> <td>畑かん 実施6-4</td> <td>2)-1</td> </tr> <tr> <td>4) 標準断面図作成</td> <td>各タイプ別に、標準断面図を作成 する。</td> <td>100 ha</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(0.6)</td> <td>(1.6)</td> <td>(6.4)</td> <td>注 場 基本4-1</td> <td>1)-2</td> </tr> <tr> <td>5) 数量計算</td> <td>詳細数量計算を行う。 (給水栓まで)</td> <td>10 ha</td> <td></td> <td>(0.6)</td> <td>(1.4)</td> <td>(2.5)</td> <td>(2.5)</td> <td>(7.0)</td> <td>畑かん 実施6-6</td> <td>2)-1</td> </tr> <tr> <td>4. 幹線水路 (φ350 以上の施設計画)</td> <td>水理計算及び標準断面図における 構造計算を行い、管種を選定する</td> <td>1km</td> <td></td> <td></td> <td>(0.5)</td> <td>(0.5)</td> <td>(1.0)</td> <td>(2.0)</td> <td>注 場 基本4-1</td> <td>3)-2</td> </tr> <tr> <td>1) 水理計算、構造計算</td> <td>1/1,000頃による図測とし、縦断 計画図、管割図を作成する。</td> <td>1km</td> <td></td> <td>(2.0)</td> <td></td> <td>(2.8)</td> <td>(4.8)</td> <td>(8.8)</td> <td>注 場 実施6-2</td> <td>3)-1</td> </tr> <tr> <td>2) 縦断図作成</td> <td>詳細数量計算を行う。</td> <td>1km</td> <td></td> <td>(1.3)</td> <td>(1.9)</td> <td>(2.5)</td> <td>(5.7)</td> <td>(9.7)</td> <td>注 場 実施6-4</td> <td>3)-1</td> </tr> <tr> <td>3) 数量計算</td> <td>照査計画に基づき、業務の節目毎 に照査を実施し、照査報告書の作成 を行う。</td> <td>1式</td> <td></td> <td>(1.6)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(1.6)</td> <td>注 場 実施13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 照査</td> <td>各作業項目の成果物の点検、とり まとめ及び報告書の作成を行う。</td> <td>30 ha</td> <td></td> <td>(0.3)</td> <td>(2.6)</td> <td>(1.7)</td> <td></td> <td>(4.6)</td> <td>注 場 実施14</td> <td>1)-1</td> </tr> <tr> <td>6 点検とりまとめ</td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>(2.9)</td> <td>(6.6)</td> <td>(9.8)</td> <td>(12.0)</td> <td>(46.2)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業項目	作業内容	歩掛基準	標準歩掛					計	適用歩掛	補正係数	技師長	主 師	技師A	技師B	技師C	技術員	1. 現地調査	地形、水源位置、主要施設位置等 1) 現地調査 地区内を踏査し把握する。	100 ha		(1.0)	(1.0)		(1.0)	(3.0)	畑かん 構想1-1	2)-2	2. 計画図示の検討	既存資料及び気象資料に基づき、計 算式により単位用水量を決定する。	1地区		(1.0)		(1.0)	(2.0)	畑かん 基本2-1			3. 計 画	路線別に計画断面決定に必要な用 水量を決定するとともに、用水系 統概式図を作成する。	100 ha		(1.0)		(4.0)	(2.0)	(7.0)	注 場 基本3-9	1)-2	1) 計画用水量	路線毎の平均勾配に基づく、水理 計算を行う。	100 ha			(1.0)		(2.0)	(3.0)	注 場 基本3-11-1	1)-2	2) 用水路水理計算	1/1,000頃に配管計画を行い、管種 口径、延長及び附属工を記入する と併に、支線水路の異形管種の内 示を行う。(給水栓までの計画)	10 ha		(0.9)	(0.1)	(3.1)	(3.7)	(9.8)	畑かん 実施6-4	2)-1	4) 標準断面図作成	各タイプ別に、標準断面図を作成 する。	100 ha		(1.0)		(0.6)	(1.6)	(6.4)	注 場 基本4-1	1)-2	5) 数量計算	詳細数量計算を行う。 (給水栓まで)	10 ha		(0.6)	(1.4)	(2.5)	(2.5)	(7.0)	畑かん 実施6-6	2)-1	4. 幹線水路 (φ350 以上の施設計画)	水理計算及び標準断面図における 構造計算を行い、管種を選定する	1km			(0.5)	(0.5)	(1.0)	(2.0)	注 場 基本4-1	3)-2	1) 水理計算、構造計算	1/1,000頃による図測とし、縦断 計画図、管割図を作成する。	1km		(2.0)		(2.8)	(4.8)	(8.8)	注 場 実施6-2	3)-1	2) 縦断図作成	詳細数量計算を行う。	1km		(1.3)	(1.9)	(2.5)	(5.7)	(9.7)	注 場 実施6-4	3)-1	3) 数量計算	照査計画に基づき、業務の節目毎 に照査を実施し、照査報告書の作成 を行う。	1式		(1.6)				(1.6)	注 場 実施13		5. 照査	各作業項目の成果物の点検、とり まとめ及び報告書の作成を行う。	30 ha		(0.3)	(2.6)	(1.7)		(4.6)	注 場 実施14	1)-1	6 点検とりまとめ	合計			(2.9)	(6.6)	(9.8)	(12.0)	(46.2)			<p>5. 水田パイプライン設計歩掛 (実施設計)</p> <p>5. 水田パイプライン設計歩掛 (実施設計) *水田パイプライン単独工事における設計に適用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業項目</th> <th rowspan="2">作業内容</th> <th rowspan="2">歩掛基準</th> <th colspan="5">標準歩掛</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">適用歩掛</th> <th rowspan="2">補正係数</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主 師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 現地調査</td> <td>地形、水源位置、主要施設位置等 1) 現地調査 地区内を踏査し把握する。</td> <td>100 ha</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td>(3.0)</td> <td>畑かん 構想1-1</td> <td>2)-2</td> </tr> <tr> <td>2. 計画図示の検討</td> <td>既存資料及び気象資料に基づき、計 算式により単位用水量を決定する。</td> <td>1地区</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td>(2.0)</td> <td>畑かん 基本2-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 計 画</td> <td>路線別に計画断面決定に必要な用 水量を決定するとともに、用水系 統概式図を作成する。</td> <td>100 ha</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(4.0)</td> <td>(2.0)</td> <td>(7.0)</td> <td>注 場 基本3-9</td> <td>1)-2</td> </tr> <tr> <td>1) 計画用水量</td> <td>路線毎の平均勾配に基づく、水理 計算を行う。</td> <td>100 ha</td> <td></td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(2.0)</td> <td>(3.0)</td> <td>注 場 基本3-11-1</td> <td>1)-2</td> </tr> <tr> <td>2) 用水路水理計算</td> <td>1/1,000頃に配管計画を行い、管種 口径、延長及び附属工を記入する と併に、支線水路の異形管種の内 示を行う。(給水栓までの計画)</td> <td>10 ha</td> <td></td> <td>(0.6)</td> <td>(1.4)</td> <td>(2.0)</td> <td>(2.4)</td> <td>(6.4)</td> <td>畑かん 実施6-4</td> <td>2)-1</td> </tr> <tr> <td>4) 標準断面図作成</td> <td>各タイプ別に、標準断面図を作成 する。</td> <td>100 ha</td> <td></td> <td>(1.0)</td> <td></td> <td>(0.6)</td> <td>(1.6)</td> <td>(6.4)</td> <td>注 場 基本4-1</td> <td>1)-2</td> </tr> <tr> <td>5) 数量計算</td> <td>詳細数量計算を行う。 (給水栓まで)</td> <td>10 ha</td> <td></td> <td>(0.4)</td> <td>(0.9)</td> <td>(1.6)</td> <td>(1.6)</td> <td>(4.5)</td> <td>畑かん 実施6-6</td> <td>2)-1</td> </tr> <tr> <td>4. 幹線水路 (φ350 以上の施設計画)</td> <td>水理計算及び標準断面図における 構造計算を行い、管種を選定する</td> <td>1km</td> <td></td> <td></td> <td>(0.5)</td> <td>(0.5)</td> <td>(1.0)</td> <td>(2.0)</td> <td>注 場 基本4-1</td> <td>3)-2</td> </tr> <tr> <td>1) 水理計算、構造計算</td> <td>1/1,000頃による図測とし、縦断 計画図、管割図を作成する。</td> <td>1km</td> <td></td> <td>(2.0)</td> <td></td> <td>(2.8)</td> <td>(4.8)</td> <td>(8.8)</td> <td>注 場 実施6-2</td> <td>3)-1</td> </tr> <tr> <td>2) 縦断図作成</td> <td>詳細数量計算を行う。</td> <td>1km</td> <td></td> <td>(1.3)</td> <td>(1.9)</td> <td>(2.5)</td> <td>(5.7)</td> <td>(9.7)</td> <td>注 場 実施6-4</td> <td>3)-1</td> </tr> <tr> <td>3) 数量計算</td> <td>照査計画に基づき、業務の節目毎 に照査を実施し、照査報告書の作成 を行う。</td> <td>1式</td> <td></td> <td>(1.6)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(1.6)</td> <td>注 場 実施13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 照査</td> <td>各作業項目の成果物の点検、とり まとめ及び報告書の作成を行う。</td> <td>30 ha</td> <td></td> <td>(0.3)</td> <td>(2.6)</td> <td>(1.7)</td> <td></td> <td>(4.6)</td> <td>注 場 実施14</td> <td>1)-1</td> </tr> <tr> <td>6 点検とりまとめ</td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>(2.9)</td> <td>(6.6)</td> <td>(9.8)</td> <td>(12.0)</td> <td>(46.2)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業項目	作業内容	歩掛基準	標準歩掛					計	適用歩掛	補正係数	技師長	主 師	技師A	技師B	技師C	技術員	1. 現地調査	地形、水源位置、主要施設位置等 1) 現地調査 地区内を踏査し把握する。	100 ha		(1.0)	(1.0)		(1.0)	(3.0)	畑かん 構想1-1	2)-2	2. 計画図示の検討	既存資料及び気象資料に基づき、計 算式により単位用水量を決定する。	1地区		(1.0)		(1.0)	(2.0)	畑かん 基本2-1			3. 計 画	路線別に計画断面決定に必要な用 水量を決定するとともに、用水系 統概式図を作成する。	100 ha		(1.0)		(4.0)	(2.0)	(7.0)	注 場 基本3-9	1)-2	1) 計画用水量	路線毎の平均勾配に基づく、水理 計算を行う。	100 ha			(1.0)		(2.0)	(3.0)	注 場 基本3-11-1	1)-2	2) 用水路水理計算	1/1,000頃に配管計画を行い、管種 口径、延長及び附属工を記入する と併に、支線水路の異形管種の内 示を行う。(給水栓までの計画)	10 ha		(0.6)	(1.4)	(2.0)	(2.4)	(6.4)	畑かん 実施6-4	2)-1	4) 標準断面図作成	各タイプ別に、標準断面図を作成 する。	100 ha		(1.0)		(0.6)	(1.6)	(6.4)	注 場 基本4-1	1)-2	5) 数量計算	詳細数量計算を行う。 (給水栓まで)	10 ha		(0.4)	(0.9)	(1.6)	(1.6)	(4.5)	畑かん 実施6-6	2)-1	4. 幹線水路 (φ350 以上の施設計画)	水理計算及び標準断面図における 構造計算を行い、管種を選定する	1km			(0.5)	(0.5)	(1.0)	(2.0)	注 場 基本4-1	3)-2	1) 水理計算、構造計算	1/1,000頃による図測とし、縦断 計画図、管割図を作成する。	1km		(2.0)		(2.8)	(4.8)	(8.8)	注 場 実施6-2	3)-1	2) 縦断図作成	詳細数量計算を行う。	1km		(1.3)	(1.9)	(2.5)	(5.7)	(9.7)	注 場 実施6-4	3)-1	3) 数量計算	照査計画に基づき、業務の節目毎 に照査を実施し、照査報告書の作成 を行う。	1式		(1.6)				(1.6)	注 場 実施13		5. 照査	各作業項目の成果物の点検、とり まとめ及び報告書の作成を行う。	30 ha		(0.3)	(2.6)	(1.7)		(4.6)	注 場 実施14	1)-1	6 点検とりまとめ	合計			(2.9)	(6.6)	(9.8)	(12.0)	(46.2)		
作業項目	作業内容				歩掛基準	標準歩掛							計	適用歩掛	補正係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		技師長	主 師	技師A		技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1. 現地調査	地形、水源位置、主要施設位置等 1) 現地調査 地区内を踏査し把握する。	100 ha		(1.0)	(1.0)		(1.0)	(3.0)	畑かん 構想1-1	2)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2. 計画図示の検討	既存資料及び気象資料に基づき、計 算式により単位用水量を決定する。	1地区		(1.0)		(1.0)	(2.0)	畑かん 基本2-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3. 計 画	路線別に計画断面決定に必要な用 水量を決定するとともに、用水系 統概式図を作成する。	100 ha		(1.0)		(4.0)	(2.0)	(7.0)	注 場 基本3-9	1)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1) 計画用水量	路線毎の平均勾配に基づく、水理 計算を行う。	100 ha			(1.0)		(2.0)	(3.0)	注 場 基本3-11-1	1)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2) 用水路水理計算	1/1,000頃に配管計画を行い、管種 口径、延長及び附属工を記入する と併に、支線水路の異形管種の内 示を行う。(給水栓までの計画)	10 ha		(0.9)	(0.1)	(3.1)	(3.7)	(9.8)	畑かん 実施6-4	2)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
4) 標準断面図作成	各タイプ別に、標準断面図を作成 する。	100 ha		(1.0)		(0.6)	(1.6)	(6.4)	注 場 基本4-1	1)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
5) 数量計算	詳細数量計算を行う。 (給水栓まで)	10 ha		(0.6)	(1.4)	(2.5)	(2.5)	(7.0)	畑かん 実施6-6	2)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
4. 幹線水路 (φ350 以上の施設計画)	水理計算及び標準断面図における 構造計算を行い、管種を選定する	1km			(0.5)	(0.5)	(1.0)	(2.0)	注 場 基本4-1	3)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1) 水理計算、構造計算	1/1,000頃による図測とし、縦断 計画図、管割図を作成する。	1km		(2.0)		(2.8)	(4.8)	(8.8)	注 場 実施6-2	3)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2) 縦断図作成	詳細数量計算を行う。	1km		(1.3)	(1.9)	(2.5)	(5.7)	(9.7)	注 場 実施6-4	3)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
3) 数量計算	照査計画に基づき、業務の節目毎 に照査を実施し、照査報告書の作成 を行う。	1式		(1.6)				(1.6)	注 場 実施13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
5. 照査	各作業項目の成果物の点検、とり まとめ及び報告書の作成を行う。	30 ha		(0.3)	(2.6)	(1.7)		(4.6)	注 場 実施14	1)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
6 点検とりまとめ	合計			(2.9)	(6.6)	(9.8)	(12.0)	(46.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
作業項目	作業内容	歩掛基準	標準歩掛					計	適用歩掛	補正係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			技師長	主 師	技師A	技師B	技師C				技術員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1. 現地調査	地形、水源位置、主要施設位置等 1) 現地調査 地区内を踏査し把握する。	100 ha		(1.0)	(1.0)		(1.0)	(3.0)	畑かん 構想1-1	2)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2. 計画図示の検討	既存資料及び気象資料に基づき、計 算式により単位用水量を決定する。	1地区		(1.0)		(1.0)	(2.0)	畑かん 基本2-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3. 計 画	路線別に計画断面決定に必要な用 水量を決定するとともに、用水系 統概式図を作成する。	100 ha		(1.0)		(4.0)	(2.0)	(7.0)	注 場 基本3-9	1)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1) 計画用水量	路線毎の平均勾配に基づく、水理 計算を行う。	100 ha			(1.0)		(2.0)	(3.0)	注 場 基本3-11-1	1)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2) 用水路水理計算	1/1,000頃に配管計画を行い、管種 口径、延長及び附属工を記入する と併に、支線水路の異形管種の内 示を行う。(給水栓までの計画)	10 ha		(0.6)	(1.4)	(2.0)	(2.4)	(6.4)	畑かん 実施6-4	2)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
4) 標準断面図作成	各タイプ別に、標準断面図を作成 する。	100 ha		(1.0)		(0.6)	(1.6)	(6.4)	注 場 基本4-1	1)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
5) 数量計算	詳細数量計算を行う。 (給水栓まで)	10 ha		(0.4)	(0.9)	(1.6)	(1.6)	(4.5)	畑かん 実施6-6	2)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
4. 幹線水路 (φ350 以上の施設計画)	水理計算及び標準断面図における 構造計算を行い、管種を選定する	1km			(0.5)	(0.5)	(1.0)	(2.0)	注 場 基本4-1	3)-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1) 水理計算、構造計算	1/1,000頃による図測とし、縦断 計画図、管割図を作成する。	1km		(2.0)		(2.8)	(4.8)	(8.8)	注 場 実施6-2	3)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2) 縦断図作成	詳細数量計算を行う。	1km		(1.3)	(1.9)	(2.5)	(5.7)	(9.7)	注 場 実施6-4	3)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
3) 数量計算	照査計画に基づき、業務の節目毎 に照査を実施し、照査報告書の作成 を行う。	1式		(1.6)				(1.6)	注 場 実施13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
5. 照査	各作業項目の成果物の点検、とり まとめ及び報告書の作成を行う。	30 ha		(0.3)	(2.6)	(1.7)		(4.6)	注 場 実施14	1)-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
6 点検とりまとめ	合計			(2.9)	(6.6)	(9.8)	(12.0)	(46.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										